



とおかまちカラー

Tokamachi C O L O R

十日町市 市勢要覧 2022





特集 **とおかまちに広がるそれぞれのCOLOR**

- 04 **Uターン・Iターンの推進**
関係人口拡大で地域活性化を目指します
- 06 **怒涛の人の流れを創出**
豊富な観光資源を生かした誘客の取り組みを推進し、地域の活力を創出します
- 08 文化資源の魅力を深め、国内外からの来訪を促進します
- 10 **脱炭素社会のトップランナーに**
二酸化炭素排出量削減に取り組みます
- 12 **上越魚沼地域振興快速道路と周辺整備の促進**
アクセスの向上と観光振興を支援します
- 13 **地域の医療・在宅看護と介護の充実**
医療・福祉、生活支援サービスを一体的に提供します
- 14 市長あいさつ
新たな十日町市の創造に向けて

まちづくりのいろイロ

01 人にやさしいまちづくり

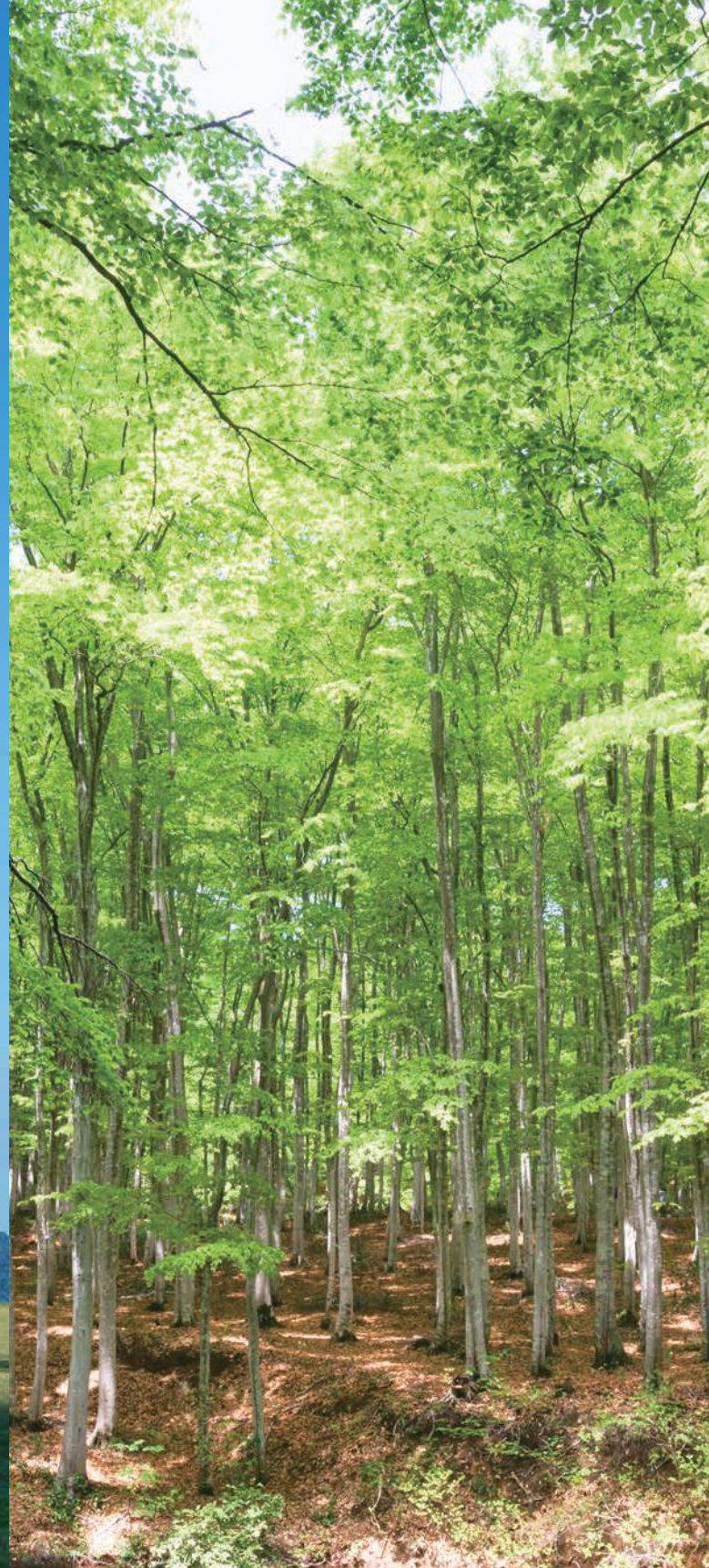
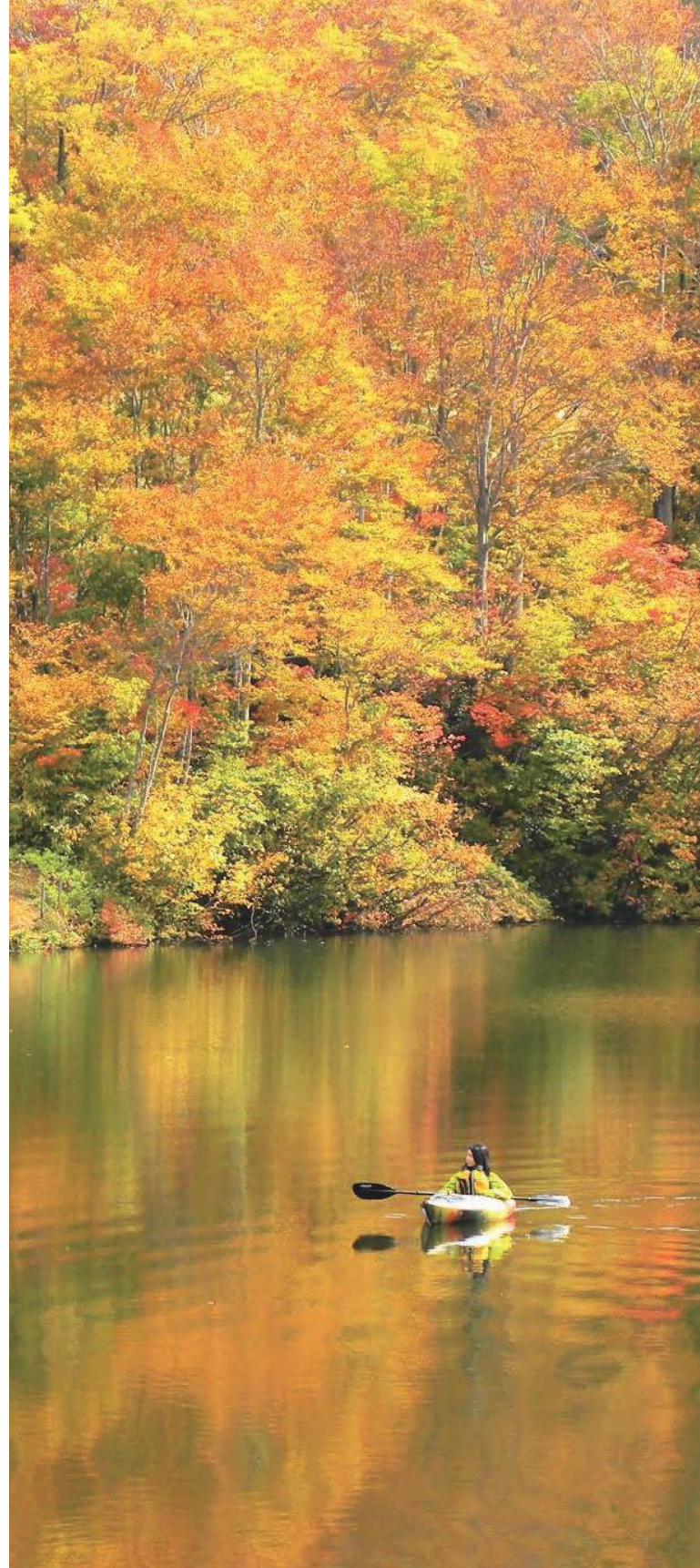
- 16 [子育て支援]
安心して子どもを産み育てられるまち
- 18 [教育]
ふるさとを愛し自立して社会で生きる子どもを育てるまち
- 20 [福祉]
地域で支え合う福祉のまち

02 活力ある元気なまちづくり

- 22 [農林業]
活力ある農林業と魅力的な里山のあるまち
- 24 [産業]
力強い産業と雇用を育むまち
- 26 [学び・文化・スポーツ]
誰もが自由に楽しく学び多様な文化にふれあえるまち

03 安全・安心なまちづくり

- 28 [防災]
災害に強く安心して暮らせるまち
- 29 [医療]
生涯元気で健やかに暮らせるまち
- 30 [環境]
環境にやさしく自然と調和するまち



十日町市にある、さまざまな魅力。これを特『色』として、カラーに置き換えてみると、「自然が出すカラー」、「人がつくるカラー」、これらが調和した「十日町市だけのカラー」があります。

まずは「自然が出すカラー」。この地には自然豊かな四季があり、春にはまぶしい「緑」の木々が、夏には抜けるような「青」空が、秋には里山に鮮やかな「赤」や「黄」の紅葉が、冬には「白銀」の雪景色が広がります。そして「人がつくるカラー」。遥か昔の縄文時代からこの地で暮らす先人たちは、ここ十日町市で特色あふれる文化・生活を営み、私たちへ受け継いできました。この継承されてきた文化・生活は、日本遺産ストーリー「究極の雪国とおかまち ―真説！豪雪地ものがたり―」として文化庁に認定されました。そしてこれら「自然」と「人」が調和して、「大地の芸術祭」に代表されるような「十日町市だけのカラー」が、この地で次々と生まれています。

光の特性として、色が重なれば重なるほど、「白く輝く」という原理があります。「白」は、まさに雪国・十日町市を代表するカラー。十日町市はこれからも多彩なカラーを重ねて、さらに白く、輝いていきます。

3

移住・定住
の促進

移住の実現度を高める 暮らしぶりをリアルに 想像できる取組み

ホーム ホーム ニイガタ
株式会社HOME HOME NIIGATA
いび あきら
代表取締役 **井比 晃** さん

市と協力して、十日町市への移住・定住を促進しています。移住は旅行の延長線上にあるものと解釈しています。そこで、移住を検討する人が移住後の暮らしを具体的にイメージできるよう、十日町市の文化や風土、出会いなどを地元の人や講師になって体験・交流できるトラベルプランを提供し、移住の実現度を高めるサポートをしています。移住に際して最も重要なことは、地域の皆さんと良好な関係性を築いていくことです。地元の方とふれあうことで、ここでの暮らしがリアルに想像でき、移住する真の価値を見出すことにもつながります。



かんじき作り体験の様子



Photo by ホシノミホ

2

農業×
女子サッカー

農業とサッカーで切り開く 新たなライフスタイル

FC越後妻有は、「大地の芸術祭」から派生したプロジェクトです。女子サッカー選手が棚田の担い手として十日町市へ移住・就農するほか、芸術祭運営にも励みながら活動しており、少子高齢化や農業の担い手不足が進む中山間地を活性化し、ほかに類を見ない取組みです。

チームで広報を担当する森希紗さんは、「地域に支えられて、サッカーと農業の両立ができています。初めての農業に苦戦しましたが、地元の人たちの応援やサポートのおかげで、私たちはサッカー選手としても人間としても日々成長しています。今後はサッカーの経験を生かした体操教室などを始め、地域の健康づくりに貢献したいと考えています」と、目標を語ります。これからも地域との関わりに期待が寄せられます。



松代小学校児童と協働で田植え

Uターン・Iターンの推進

関係人口拡大で地域活性化を目指します

在广泛传播日常生活中能够切实感受到的舒适和心灵丰富的山区文化的魅力的同时，通过大力充实对职业教育以及年轻人・育儿一代的支援和住宅获得支援等，进一步完善返乡・入乡者的接收体制！。另外，深化与姐妹・友好城市极其出身者的关系，珍惜迄今为止所建立的友谊，增加新的十日町粉丝，谋求相关人口的进一步扩大・深化。

We are aiming to create a system to welcome people back to the countryside or those looking to escape the cities by promoting the spiritually fulfilling charms of rural culture as well as the slow pace of life, alongside supporting career education, young people and those with children, and with support for housing. Furthermore, we will strengthen our networks between sister cities, friendship cities, and locals. Existing relationships that have been built are highly valued, and we will also increase the number of fans of Tokamachi, as well as forming deep connections with other relevant parties.

日々の暮らしの中に感じられるゆとりや、心の豊かさを実感できる里山文化の魅力を広く発信するとともに、キャリア教育や若者・子育て世代への支援、住宅取得支援などにより、U・Iターン者の受入体制の充実を図ります。また、姉妹・友好都市や出身者とのネットワークを深め、これまで築き上げた縁を大切にして、新たなとおかまちファンを増やし、関係人口のさらなる拡大・深化に取り組みます。



Picture

十日町市に移住して起業した
藤村真美子さん（右）と大庭ひとみさん（左）

1

移住・起業×
地域活性化

新たな発見と 出会いの毎日

移動カレー販売「チャドカン」

藤村真美子さん

大阪府出身ですが、大地の芸術祭の「こへび隊」として活動したことが、十日町市との出会いでした。その後、十日町市の地域おこし協力隊員となり、豊かな自然、おいしい食材や水に魅了され、任期終了後に移住を決意し、移動カレー販売「チャドカン」を起業しました。起業に際しては、周りの方々からさまざまなアドバイスをいただいたり、市の支援事業を活用させていただいたり、本当にありがたかったです。また、ともに地域おこし協力隊として活動した、大庭ひとみさんも加わってくれたことが、大きな力となりました。

移動販売で、市内さまざまな地域やイベントなどに出没して、新たな発見と出会いの毎日です。このお店を通して、第二の故郷十日町市の地域活性化につながればうれしいです。



ムジ トゥゴー
（株良品計画との協定で実現した移動販売バス「MUJI to Go」の来市

4

関係人口の
拡大・深化

民間企業との連携

2020年9月、株式会社良品計画と十日町市は連携協定を締結しました。この協定は大地の芸術祭をはじめ、観光・産業、まちづくりなどの多様な分野で協力し、地域社会の発展と地域活性化の推進に寄与することを目的としています。2021年4月には、越後妻有交流館キナーレ1F回廊に同社が監修したコミュニティスペースがオープン。市内内外の人々が集う新たなにぎわいの空間が生まれました。

また、一般社団法人日本経済団体連合会は、持続可能な資本主義の実現に向けて「地方創生」を最重要分野の一つに位置付けています。その実現に向けた「地域協創アクションプログラム」の連携パートナーとして、大地の芸術祭実行委員会（十日町市・津南町）が選ばれました。このような経済団体・民間企業との協創により、さらなる関係人口の拡大と深化を図ります。



マ・ヤンゾン／MADアーキテクト「Tunnel of Light」

2
大地の
芸術祭

豊かな自然とアートが織りなす 観光スポット

見事な峡谷美と柱状節理の地形が広がる清津峡。1996年に観光用の歩道トンネルが建設され、その美しく雄大な自然は訪れる人々を楽しませてきました。しかし、年々来訪者は減少する状況となり、これを打開するため2018年に開催された「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2018」を皮切りに、アートによるリニューアルを行いました。リニューアルでトンネル内にある4つの見晴所は再生し、それぞれが異なる魅力を放つ、世界中から人が訪れる観光スポットとなりました。

した。特に最後の見晴所であるパノラマステーション（上写真）は、清津峡の清らかな雪解け水が張られた水面に四季折々の柱状節理の景色が映り込む、幻想的な空間です。作品を設計した、MAD建築事務所を共同主宰する早野洋介さんは「このプロジェクトが、清津峡の美しさを世界中に広めるきっかけとなったことをうれしく思います。十日町市の食や文化など、さまざまな魅力発信の基点となつてほしいです」と、今後の期待を話してくれました。



目「movements」 Photo by Kioku Keizo

1
大地の
芸術祭

アートを媒介に地域が活性化する 魅力的なまち

NPO法人越後妻有里山協働機構 丸尾葉那さん
大地の芸術祭サポーター「こへび隊」を経験し、アートと社会のつながりについて、興味を持ちました。そして、温かく接してくれた越後妻有地域の人たちと関わりたいと考え、当法人で働いています。現在は、メディア対応のほか、ホームページ・SNS運用や印刷物作成など、広報の仕事を担当しています。越後妻有地域には20年にもわたり続いてきた大地の芸術祭で、市内にアート作品が点在しています。このアートとともに地域に内在



する風景、生活様式や文化といった暮らしに、社会的価値を見出しています。また、アートを媒介に地域が活性化をする魅力的なまちだと感じています。大地の芸術祭を通してさらなる地域活性化や新たな事業の創出に、私も微力ながら貢献したいと考えています。

- 1: 存分に自然を感じて遊べる
アウトドアフィールド
「大蔵寺高原キャンプ場」
2: 景色良好・開放感抜群の
「清田山キャンプ場」



2



1

3
アウトドア
観光



NPO法人GGG 小針伸広さん
理事長
当法人は清田山キャンプ場の運営管理を市から受託しています。キャンプなど、アウトドア観光で十日町市へ訪れていただいた方には、この地域の豊かな自然を存分に味わっていただきたいです。清田山キャンプ場は、ご来場いただくお客様に、地域住民の方にも運営方針の決定などに関わってもらっています。これが功を奏してか、おかげさまで利用いただく方は増えています。そしてリピーターを増やし、ゆくゆくは十日町市への移住も考えてもらうなど、当法人の最大の目的である人口増へもつなげていければと考えています。

キャンプなどで
この地域の魅力に
気づいたファンに
拡大を目指す

怒涛の人の流れを創出

豊富な観光資源を生かした誘客の取り組みを推進し、
地域の活力を創出します



Picture レアンドロ・エルリッヒ「Palimpsest: 空の池」
Photo by Kioku Keizo

以营造《“大地艺术盛典”之乡》品牌的经验为基础，最大限度地呈现地区内的自然・文化・美食等的魅力，进一步提升本地区区的观光资源的附加值。同时，展开以充分利用丰富自然的露营・徒步旅行・漂流等为一体的观光战略，全年大力吸引游客，创出地区的活力。

The lessons that have been learned from the Echigo Tsumari Art Field brand have been used to great effect to promote the nature, culture, and cuisine that are to be found in the region, as well as to improve the value proposition of the tourism resources of the area. At the same time we are deploying a tourism strategy that makes full use of the abundant nature with activities such as camping, trekking, and rafting, which will revitalize the region by promoting visitors throughout the whole year.

『「大地の芸術祭」の里』ブランドを磨き上げてきたノウハウから、地域に内在する自然・文化・食などの魅力を最大限に引き出し、この地域の観光資源の付加価値をさらに高めます。あわせて、豊富な自然を生かしたキャンプ・トレッキング・ラフティングなどを組み込んだアウトドア観光戦略を展開し、通年誘客を推進することで、地域の活力を創出します。

日本遺産認定ストーリー 「究極の雪国とおかまち ―真説!豪雪地ものがたり―」

世界有数の豪雪地・十日町市に住み継いできた人々の生活文化を、「着もの」、「食べもの」、「建もの」、「まつり」、「美」の5つのものがたりでまとめたものです。雪と闘いながらもその恵みを生かし、雪の中に楽しみさえも見出して生き抜いてきた人々の、縄文時代から今に息づく雪国の暮らしを語るストーリーです。



着もの



食べもの



建もの(旧室岡家住宅)



まつり(むこ投げ)



美(国宝「火焰型土器」)

日本遺産 究極の雪国 とおかまち
スノウリッチ・ストーリーズ



ロゴマーク

認定ストーリーを活用した活動のシンボルとして作成。輝く結晶をモチーフとした四角形が中央で「十」の字を構成し、それぞれの色が5つのものがたりを表しています。豪雪の中でこの地の人々が生みだし、育んできた豊かさを「Snow Rich」(スノウリッチ)という言葉で発信していきます。

1

日本遺産
の活用

ここでの暮らしこそ「究極の雪国」のストーリー

2

里山の
魅力発信

里山が育んだ自然の魅力を「見える化」

十日町市観光協会松之山支部長 高橋 主計 さん
市内に多くみられる棚田は、日本遺産「究極の雪国」ストーリーのテーマである「自然との共生」を象徴する景観です。松之山地域にある「留守原の棚田」は、二本の杉と茅葺屋根の小屋が特徴的。この小屋はかつて家から離れた棚田に泊まり込んで作業するために使われていたもので、この地の人々の営みが見えてくる場所です。
厳しい自然の中で、先人たちが受け継いできたここでの暮らしを誇らしく思います。ストーリーを体感できるこの美しい風景を、これからも地域一丸となって守っていきたいと考えています。



茅葺屋根の小屋の改修工事も終わり、地域住民で保全に力を入れる留守原の棚田(左)



超高解像度の映像で昆虫の美しさや不思議を学ぶ

怒涛の人の流れを創出

文化資源の魅力を深め、国内外からの来訪を促進します



十日町市には、日本遺産のストーリーにも描かれているように、豪雪地ならではの自然景観や、豪雪とともに生きてきた人々の知恵が育んだ歴史文化があります。里山に展開される大地の芸術祭の現代アートなどとあわせ、地域資源の魅力をさらに高めて有機的に結び、文化観光(文化についての理解を深めることを目的とする観光)を推進します。

Picture

きもの工場見学の様子。産業の背景にある歴史や気候風土とのつながりを知ることが、観光の満足度をより高めます。

日本遺産とは・・・

地域の歴史的的魅力や特色を通じ、日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定。2020年までに104件が認定されました。十日町市には「『なんだ、コレは!』信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化」(新潟市、三条市、長岡市、魚沼市、津南町との共同申請)と「究極の雪国とおかまち ―真説!豪雪地ものがたり―」の2つの認定ストーリーがあります。



日本遺産

在十日町市,正如日本遗产的故事中所描述的那样,拥有着豪雪地区特有的自然景观和在豪雪中生存的人们的智慧所孕育的历史文化。这里在积极推进山峦之中所展现的大地艺术盛典的现代艺术等、以及与提高地区资源的魅力相互有机结合的文化观光事业(旨在加深对文化的理解的观光)。

Tokamachi City holds a place in the story of Japan's heritage, and has a unique landscape due to its heavy snowfall, as well as a culture with deep roots that has come from the wisdom of the people who have lived in amongst the impressive amounts of snow. We are promoting cultural tourism which aims to deepen understanding through culture via connecting the charms of the natural resources of the region, such as with the modern art of the Echigo Tsumari Art Field which displays its works in the rural environment.



紙おむつの乾燥に化石燃料を使わず、ごみ焼却場の余熱を利用する
「使用済み紙おむつ燃料化実証施設」



太陽光発電住宅

1
再生可能
エネルギーの
活用

太陽光発電が環境保全の意識を 高めるきっかけに

自宅に太陽光発電を導入した
山賀 洋平さん
先に設備を導入した知人
から話を伺い、導入を決め
ました。売電を含め電気代
が削減できること、機器の
故障リスクは少なく手入れ
の手間もかからないこと、
また災害時でも安心な発電
設備であることなど、数々
のメリットがあり、導入し
て良かったと感じていま
す。一方で導入時の初期費
用負担が大きいくことを心配
していましたが、市の支援
制度を活用させていただい
たおかげで、大変助かりま
した。



たが、設備導入後は電力モ
ニターで使用電力をリアル
タイムで知ることができ
るため、家族含め「節電意識」
が高まりました。私たちが
このような意識を高めるこ
とで、地球の環境を守り、
大切な故郷を未来に残して
いくことにつながると考え
ています。



松之山温泉の蒸気や熱水を活用した地熱バイナリー発電所
「コミュニティ発電 ザ・松之山温泉」

脱炭素社会のトップランナーに

二酸化炭素排出量削減に取り組みます



Picture

市内の住宅に導入された薪ストーブ。市では住宅や事業所に
再生可能エネルギー設備を導入する支援を行っています。

作为构筑低碳・良性循环
社会的举措，积极推进减少
垃圾以及循环利用、发挥太阳
光・水力・地热等自然能源以
及森林资源等生物资源的作用，
创造可再生能源。另外，在维
护森林吸收二氧化碳等广阔的
领域采取措施，力争于2050
年实现“零碳城市”。

In order to proceed towards decarbonization and
building a recycling-oriented society, a variety of
methods are being promoted including encouraging
recycling and reducing waste, harnessing natural
forms of energy such as solar, hydro, and geothermal,
as well as efforts to take advantage of renewable
forms of energy like biomass from forest resources.
We are aiming to be a Zero Carbon City by 2050 by
proceeding with a wide range of initiatives such as the
management of woodlands for carbon dioxide
absorption.

脱炭素・循環型社会を構築する取組みとして、ごみ
の減量化および再資源化の推進と、太陽光・水力・
地中熱などの自然エネルギーや、森林資源などのバ
イオマス資源を活用した再生可能エネルギーの創出
を推進します。また、森林整備による二酸化炭素の
吸収など、幅広い分野での取組みを進め、2050年
の「ゼロカーボンシティ」実現を目指します。

2

ごみの減量化
・再資源化

「未来のために今できること」 子どもたちも考え、行動する

市では県内自治体としては初めて、「『使用済みハブラシ』回収プログラム」(テラサイクルジャパン合同会社／ライオン株式会社協同実施)に参加しています。このプログラムにより回収された歯ブラシは植木鉢に再生され、私たちの暮らしに再循環されています。市立小・中・特別支援学校および保育園では、ごみの減量化やリサイクルの意識を子どもに定着させるため、校舎に回収箱を設置し、家庭にも協力を呼び掛けています。

また、地球温暖化防止の意識を持ってもらうため、県などが実施している「こどもエコチャレンジ」にも取り組むなど、環境

教育を推進しています。積極的にこの事業に参加する、市立川治小の児童に話を聞くと、「ごみを減らすことは、二酸化炭素の削減にもつながるなど、さまざまな面に好影響となることが理解できました」や、「普段の生活でも道に落ちているごみを拾うようになりました」など、着実に成果が現れています。



使用済み歯ブラシ
回収の様子

地域の医療・在宅看護と介護の充実

医療・福祉、生活支援サービスを一体的に提供します



Picture 十日町市訪問看護ステーション「おむすび」

訪問看護とは、主治医からの指示を受けて看護師や理学療法士などが利用者を訪問し、自宅での生活や療養をサポートする在宅ケアの仕組みです。中山間地を多く抱え、医療介護資源の少ないこの地域では、かねてから医療・介護・福祉関係者から「市立」での訪問看護ステーションの開設を望む声がありました。そして2021年7月、念願であった「市立」での当ステーションが開設されました。※写真はおむすびスタッフ

根据市民的健康状态以及对生活的满意度，正在与新泻县以及医师会一道探讨并构筑地区应有的医疗和上门护理的体制等。另外，对应高龄化社会，为了在山区也能提供安全、安心的医疗・看护・护理等服务，与新泻大学捐献讲座合作的同时，推进建立“现场护理与医疗”的机制。

Based on the health and life satisfaction of the residents, and in conjunction with Niigata prefecture and the Medical Association, we will evaluate and build the medical facilities and home visit care system that the area requires. In addition, in response to an ageing society, and in order to be able to provide safe and secure medical, nursing and long-term care services in a mountainous region, in association with the Niigata University Endowed Chair, we will continue to build out the care and consultation program in the community.

市民の健康状態や生活の満足度などから、新潟県や医師会とともにこの地域にあるべき医療や訪問看護体制などを検討し、構築します。また、高齢化社会に対応し、中山間地域にも安全・安心な医療・看護・介護などのサービスを提供できるように、新潟大学寄附講座と連携しながら「出向くケアと医療」の仕組みづくりを進めます。



「おむすび」という名称には、訪問看護を通じて地域を結ぶ温かなステーションにしたいという願いが込められています。中山間地域を多く抱え、医療・介護・福祉に従事する人材も少ないこの地域では、病院や施設に過度に依存することなく、住み慣れた自宅で療養できる体制が求められています。

訪問看護は病気の治療だけでなく、利用者の方の生活にじっくり関わるので、その人の暮らしの一部になります。責任も大きいですが、利用者の方とそのご家族とふれあう中で、笑顔を見せてもらったり、「ありがとう」と感謝をいただいたりしたときは、やりがいを感じます。

今後は、24時間対応や精神疾患をもつ利用者の方にも対応できる体制づくりに取り組んでいきます。大変ですが、一人でも多くの方を笑顔にするため、スタッフ一同まい進していきます。

十日町市訪問看護ステーション「おむすび」管理者 看護師 諏訪部 有子 さん

福祉
医療

一人でも多くの
利用者の方を
笑顔にしたい

上越魚沼地域振興快速道路と周辺整備の促進

アクセスの向上と観光振興を支援します



Picture 十日町インターチェンジ（仮称）の整備予定地周辺

在与新潟县协作的同时，采取措施积极推进上越鱼沼地域振兴快速道路八箇～北鐙坂之间的“十日町道路”的早期完成。同时，也在积研究所设立的十日町出入口（暂时名称）的周边，以便进行能够发挥十日町市的魅力的开发。

We are progressing with the aim of an early completion of the Joetsu Uonuma Regional Development Thoroughway between Hakka and Kitaabuzaka, the Tokamachi-doro, in conjunction with Niigata prefecture. The area around what could be called the Tokamachi Interchange is being assessed so that it could be developed in a way that would be most beneficial for Tokamachi.

上越魚沼地域振興快速道路八箇～北鐙坂間の「十日町道路」早期整備に向けた取組みを、新潟県と連携しながら進めていきます。合わせて整備される十日町インターチェンジ（仮称）周辺は、十日町市の魅力を生かした開発ができるように検討を進めます。



水沢地区を通過する計画である「十日町道路」に、地区として期待を寄せています。特に、合わせて整備されるインターチェンジ周辺は、地域活性化のためにここを通る人たちに利用してもらえ、魅力のある開発をしなければなりません。

そのためには、この地域の特色である「農」を取り入れたものが良いのではと考えています。また、「農」だけでなく、この地域の豊かな自然を活用した「地域エネルギー」を導入した施設を建設することなども重要ではないでしょうか。これらの構想を実現するには、私たち地域住民だけの力では不可能です。市や県、国の行政関係者とも連携し、話し合っていく必要があります。

「十日町道路」そしてインターチェンジ周辺の整備により、「ヒト」、「モノ」、「コト」がつながり、活力ある地域に発展していくことを願っています。

地域
活性化

活力ある地域への
発展を願って

水沢地区振興会長 川田 一幸 さん



十日町市長 関口 芳史

行委員会」が選ばれました。これを契機に、首都圏などの産業・経済界の皆さんとつながりを深め、当市喫緊の課題である人口減少対策にさまざまな分野で取り組んでいきます。

2019年12月以降、爆発的に世界へ広がった新型コロナウイルス感染症により、私たちの価値観は大きく変化し、明治維新や第2次世界大戦の敗戦以来の大きな転換期にあると考えています。今、全ての人がこれまでの生き方、考え方を改めて見つめ直し、新たな時代に向けて歩みを進めていかななくてはなりません。

東京一極集中から地方回帰の流れが生まれる中、私たちはポストコロナにおける「人々の価値観の変化」をチャンスと捉え、新たな十日町市の創造に向けて全力で取り組んでいます。

十日町市の最大の魅力は、世界有数の豪雪地帯で先人より脈々と受け継がれてきた里山の自然と、そこに根付いた雪国文化です。これは当市発展の礎となった「新市将来構想」においても、新市のまちづくりの視点として記されている内容です。

これらの魅力は、2020年に「究極の雪国とおかまち ―真説！豪雪地ものがたり―」として、国の日本遺産に認定されました。国内の数ある豪雪地の中で「豪雪のストーリー」を日本遺産にしているのは十日町市だけであり、私たちはこの豪雪で育まれた豊かな自然や雪国文化を唯一無二の資産として、さらに磨き上げていかなければなりません。

また、地域活性化を目的として2000年から20年以上にわたり取り組んでいる「大地の芸術祭」は、国内各地でアートによる地域づくりが行われるようになった今日においても、その先鞭性や革新的な発想から、パイオニア的存在として国内外で大きな注目を集めています。そしてこれらの取り組みが高く評価され、2021年には日本経済団体連合会から地域共創アクションプログラムの連携先の一つに「大地の芸術祭実

新たな十日町市の 創造に向けて





2

1:「あそび広場」の大型遊具
2:子どもたちの歓声が響くそり
ゲレンデ
3:広大な敷地の「しばふ広場」



1



3

**十日町市児童センター
めぐらんど**
遊びを通して豊かな心と
身体を育てる施設

「こりゅうひろば」や「ちびっこ広場」などには床暖房が入っていて、寒い日も快適です。また、屋外の広大な敷地にある「しばふ広場」にもふわふわドームやそりゲレンデ、噴水などを設置していて、市内の保育園からも散歩などで利用されています。

産後ケア事業
安心して子育てできる
支援体制を

市内の「たかき医院」と連携し、子育て世帯の生活をサポートしています。市内在住の母親と乳児を対象に、母体の回復に心配がある人、育児に不安がある人、家族などからの援助を受けられない人などを支援しています。健康管理、沐浴や授乳などの育児・保健指導、生活



高木院長と産後ケアを受ける利用者



「たかき医院」での沐浴指導の様子

减轻育儿一代的精神上的・経済上的負担以及营造居住环境，应对需要特殊照顾的家庭等，根据实际情况进行细致周到的支援。

We offer many kinds of support to those that are raising children, including reducing the mental and financial burden, providing living spaces, and looking after those in need.



人にやさしい
まちづくり

01

子育て支援

安心して子どもを
産み育てられるまち

子育て世代の精神的・経済的負担の軽減や居場所づくり、また配慮が必要な家庭への対応など、それぞれの状況に応じた切れ目のない支援を行っています。

めぐらんど「あそび広場」で遊ぶ子ども



「未来デザインタイム」(吉田中学校)

「にいがたの名工」(職業人講師)を招いて日本料理の実演や実習を行いました。また、なりたい自分になるためにプランニングタイム(計画力・振り返り力)の充実を図っています。

「十日町観光活性化プラン」(十日町中学校)

3年生は十日町市の観光について学習し、「自然観光ツアー」、「ちんころ文化体験」、「スイーツDE映え」、「着物に親しみをもつ」などのプランを考えました。講話や調べ学習、修学旅行を通して収集した情報をもとに、それぞれ工夫を凝らしたプランをつくりあげました。



進めています。これら各校の取り組みは研修会で共有しており、市全体でのさらなるキャリア教育の推進につなげていきます。

キャリア教育

なりたい自分を育むために

市立吉田中学校では、社会人・職業人講師を招き、「なりたい自分」を想像して将来の夢や目標、今後の進路・職業選択を考える、キャリア教育に取り組んでいます。総合学習では「未来創造学習」をテーマに、各種講話でさまざまな情報や考えにふれ、自分がどのように成長していけば良いか、計画・目標を立てて生活できるように心がけています。各中学校ではこのような学校ごとのキャリア教育が実施され、将来の夢や希望を持つ子どもの育成を



「ほうかご寺子屋塾」(十日町小学校)

元教員が指導者となって、児童一人ひとりのペースに合わせて進めていきます。これにより、集中力と学習意欲が育まれています。



れる充実した内容となっています。使用しているワークブックも、後援会から支援してもらっています。家庭にも負担がかからず、本当にありがたいです。

当校では、ほかにも体育のスキー授業におけるコース付けや、家庭科のミシン指導など、多彩な力を地域からお借りしています。

未来へ羽ばたく子どもたちに
充実した教育を提供

市立十日町小学校長
松澤 ゆりか さん

コミュニティ・スクール

interview

当校のコミュニティ・スクールでは、6年生児童の希望者を対象に、ワークブックを用いた学習や自主学習を行う学習支援「ほうかご寺子屋塾」を行っています。元教員が指導者となって、苦手な学習内容を定着させるだけでなく、その日学習する課題を自分のペースで進めていくことができる場となっています。また、中学進学を控える6年生にとっては、自主的に学ぶ姿勢を身に付けることができます。自力解決が難しい問題は、解き方やヒントを聞くこともできるので、学びを深め

创建更加能够满足于儿童需求的教育环境。今后将积极推进利用ICT(信息通信技术)的丰富多彩的学习方式以及能够想象自己未来的职业教育等，地区整体一心来创建充满活力的学校。

We are designing a better educational environment for the children of the region. In the future, the community as a whole will be involved in creating vibrant schooling, various methods of learning such as Information and Communication Technology will be incorporated, and there will be career education which will help them imagine a future path.

子どもたちにとってより望ましい教育環境を整備しています。今後は、ICT(情報通信技術)を活用したさまざまな学びの推進、また将来の自分を想像するためのキャリア教育などで、地域一体となって活力ある学校づくりに取り組みます。

人にやさしい
まちづくり

01

教育

ふるさとを愛し
自立して社会で生きる
子どもを育てるまち



市立南中学校での「ロイロノート※」を活用した英語授業
※思考を可視化したり、アイデアを共有したりするための学習支援アプリ

ICTを活用した
教員の指導力の向上

ギガスクール構想

市立学校の全児童生徒に、1人1台のタブレット端末が配備されました。市立南中学校では、導入されたこれらの機材や環境を活用し、生徒が自分の端末から朝の健康観察や体温チェック、授業記録などを入力し、担任教員が一括管理しています。

この取組で、ペーパーレス化や授業準備の効率化が進むなど、教員の負担軽減にもつながっています。また、生徒が生徒会や委員会活動の資料を端末を活用して作成するなど、生徒のアイデアや自主性も向上し、さまざまな面で効果が表れています。同校の小磯雅浩教諭は、「タブレット端末は、オンライン授業など学びの機会をさらに豊かにするたくさんの方々の機能を持っているということを、子どもたちに伝えていきたいです」と話してくれました。



トイレットペーパー生産作業の様子



初めての米作り。天日干しのお米を直販して、工賃アップにつなげています。

interview

障がい者就労支援

個性や能力を発揮し
いきいきと働ける環境を

NPO法人支援センターあんしん
常任理事・事務局長
久保田 学さん

当法人は、市と協力して障がい者就労支援を進めています。その一つとして、「ワークセンターあんしん」では授産事業の柱として利用者によるトイレットペーパー生産を行い、全国のお客さまへ届けています。作業にあたっては、利用者の日々の変化を見守り、疲労や不安など負担がからないようにしています。利用者の生活を豊かにし、楽しく笑顔で通ってもらえる施設となるため、さまざまな取組みを進めています。



事業を通じ、障がいのある人もない人も、生きる喜びを感じながら暮らすことができる地域をつくる。そんな社会を目指して、今後も障がい者雇用の充実に向けて課題を解決していきます。



【障がい者就労支援】トイレットペーパーの製造販売も行っているワークセンターあんしんの利用者

地域で支え合う 福祉のまち

interview

高齢者福祉事業

ココロもカラダも健康に
笑顔あふれる介護予防

十日町市社会福祉協議会
地域福祉課長
小野塚 敬之さん

当協議会は、市と連携して高齢者の健康維持や介護予防のための「通いの場」の支援を行っています。これは、市内100か所以上の集会所で週1回から月1回程度で活動している、地域の集いの場です。地元のことをよく理解している地域ボランティアの方が中心となって運営され、高齢者が体操、茶話会などさまざまな活動に自主的に取り組み、健康維持や介護予防につながります。

「通いの場」には、気軽に楽しみながら参加してもらうことが大切だと思います。ぜひ、お住まいの地



地域の人たちと茶話会で絆を深めます。



地域ボランティアの運営で行われ、健康づくりや介護予防に取り組んでいます。



域の「通いの場」へ参加して、ココロもカラダも健康になります。



誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、市内の福祉関係団体と連携して障がい者の就労支援やグループホームの整備、高齢者の生きがいをづくりや介護予防などを進めています。

【高齢者福祉事業】市内各地域で行われている仲間づくりや介護予防のための「通いの場」

为了让所有人都能够在熟悉的环境中安心生活，与市内的福利相关团体协作，推进对残疾人的就业支援、建设集体住宅、营造高龄者的生活乐趣以及增进健康等。

In order that anyone can live safely in a familiar place, in cooperation with welfare related groups within the city, we are supporting employment of those with disabilities, and the forming of group homes, as well as programs to provide a sense of purpose for the elderly and prevent the reliance on long term care.



1: 後継者の息子さんと作業に勤しむ水品さん
2: 「くりゆたか」苗の定植作業の様子
3・4: 収穫された「くりゆたか」。お菓子にも利用されるほどの甘さが特徴です。

interview

生産拡大に向けて 担い手の育成・確保を

JA十日町かばちや生産組合

水品 成良 さん

毎年1ヘクタール（1万平方メートル）の規模で複数品種のかばちやを生産しています。主に生産している品種の「くりゆたか」は、甘みが強く栗のようにホクホクしていますが、粉っぽくないのでとても食べやすいのが特徴です。

かばちやの産地化

かばちやの産地化に向けて、JAと連携して次世代を担う若手を育成しています。新規就農の手助けとなる、栽培指導会や生産塾で経験を積んでもらいたいのです。生産拡大のためには、貯蔵施設や機械購入も必要ですが、何よりも担い手の育成・確保が重要です。市やJAなどの支援を受け、おいしい作物をこれからも生産していきます。

interview

新規就農者の確保

農業で切り拓く未来

十日町市に移住して就農した
石渡 大夢 さん

大学生のとき、偶然立ち寄った十日町市で「農家見習い募集」の掲示を見たことが、農業をやろうと思ったきっかけです。その後、十日町市の地域おこし協力隊を経てそのまま市内に定住し、新規就農して米作りに励んでいます。就農にあたっては、市のサポートと国の「農業次世代人材投資資金（経営開始型）」を活用でき、本当に助かりました。利益を出すことなど苦労もありますが、この地域の人は優しく、農



業の支えとなっています。今後は作付面積を大きくして、独自のブランド米も作ってみたい。自分の名前のごとく夢を大きく持ち、地域農業の発展に貢献したいです。

森林経営管理制度

森林の適切な管理 木材利用を目指す

2019年からスタートした制度で、スギなどの人工林の管理を所有者同意のうえで市町村が一括して担う仕組みです。十日町市では伊達地区をモデル地区として制度の運用を開始しました。人工林の放置は、日照不足による樹木の生育不良や土壌環境の悪化、二酸化炭素吸収量の低下などさまざまな弊害の原因となります。適切に管理することは自然災害や、鳥獣被害、病害虫被害を防止するだけでなく、森林資源を住宅用建材や木質ペレットなどとして有効利用す



森林の適切な管理のための間伐作業

ることに繋がります。市民の皆さんが森林からの恩恵を受けられるように、この制度に取り組めます。

为了谋求提高农业收入，在大力提高农产品的品质，促进复合型农业（水稻＋蔬菜等）、强化品牌力等，创建农业综合企业。为了农林业的持续发展，也积极着手于培养・确保新的农业就业人员。

In order to improve income from agriculture we are supporting agribusiness by improving quality of produce, strengthening brand impact, and promoting integrated farming (such as vegetables and paddy fields). To develop sustainable agriculture and forestry we are aiming to support and keep those that can bring on new entrants to those industries.

interview

ねぎの産地化

「やわ肌ねぎ」の魅力を
次世代につないでいきたい

JA十日町ねぎ生産組合

上原 忠吉 さん

現在、60アール（6千平方メートル）近い規模で生産しています。新潟県のブランドになっている「やわ肌ねぎ」の特徴は、何といっても白身の長さと艶。食べても繊維を感じませんし、さまざまな食べ方を楽しめます。私は肉やベーコンで巻いて、焼いて食べるのが大好きです。

園芸作物の産地化に大切なのは人。あとに続く世代にうまくつないでいく必要があります。私もようやく後継者が見つかり、今はその指導に熱が入っています。



活力ある元気な
まちづくり

02

農林業

活力ある農林業と 魅力的な里山のあるまち

農業所得の向上を図るために、農作物の品質向上、複合営農の促進（水稻＋野菜等）、ブランド力強化などのアグリビジネスを推進しています。農林業の持続的な発展のため、新規就農者などの担い手の育成・確保にも取り組んでいます。

ねぎ・かばちなどの産地化に向けて、十日町市は新潟県やJA十日町と連携しながら、各種の補助事業・JA基金事業で生産拡大を進めています。



夢だった食品加工所の
立ち上げを語ってくれた
福岡 恭子さん

十日町産のさつまいもで作ったクッキー

食品加工所を立ち上げたいという夢を持っていましたが、実現には施設や設備などが必要で、資金調達が大きな障壁となっていました。しかし、夢を諦めたくなくて、市のビジネスコンテスト「トオコン」に出場し、十日町市の農産物加工のビジネスプランを発表しました。そこで最

woman farmer japan 株式会社
代表取締役
福岡 恭子さん

優秀賞を受賞し、市の補助金やガバメントクラウドファンディングの資金を活用して、起業と夢であった食品加工所を立ち上げました。このチャレンジにあたっては、市の事業で経営ノウハウやプレゼン資料作成などを勉強させていただき、本当にありがたかったです。今後は、同じような夢を持っている人に、この食品加工所を貸し出すことも考えています。



企業・団体がブースを設け、工夫を凝らした企業紹介と仕事体験が展開されます。



将来的な就職・地元
定着につなげるために

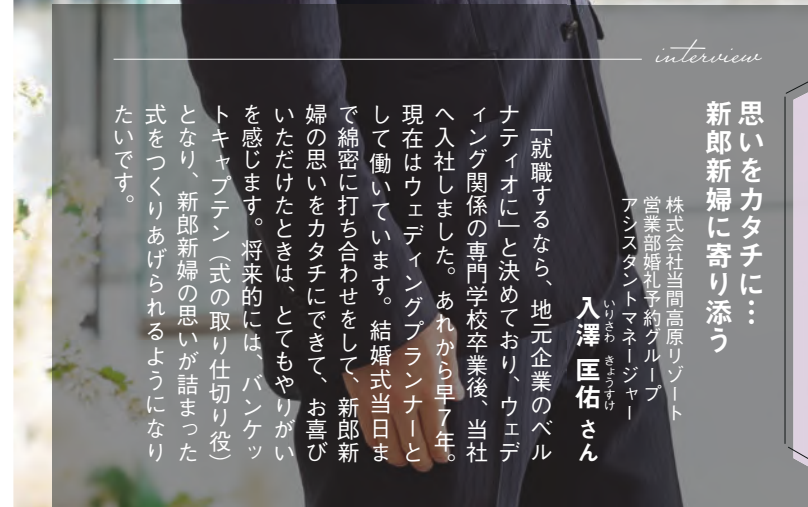
市内の全中学校・高校・支援学校の生徒を対象に、企業紹介や仕事体験をもらうイベントです。この地域では高校卒業後、進学で市外に出ていき、そのまま帰ってこないという人も多く、若者が地元で定着していないことが課題です。「地元

には就職先がない」との声もありますが、決してそんなことはなく、むしろこの地域ならではの魅力ある企業が多くあります。この地域で育った生徒に、「将来的に地元で就職を」と考えてもらいたいという思いから、このイベントを通して地域を支える産業と企業を知り、十日町市について学ぶ機会を提供しています。

まちの産業発見塾

起業・経営支援

一人ひとりの夢の実現が
まちの産業発展につながる



地域雇用の推進

思いをカタチに…
新郎新婦に寄り添う

株式会社当間高原リゾート
営業部 婚礼予約グループ
アシスタントマネージャー
入澤 匡佑さん

「就職するなら、地元企業のベルナティオ」と決めており、ウェディング関係の専門学校卒業後、当社へ入社しました。あれから早7年。現在はウェディングプランナーとして働いています。結婚式当日まで綿密に打ち合わせをして、新郎新婦の思いをカタチにできて、お喜びいただけたときは、とてもやりがいを感じます。将来的には、バンケットキャプテン（式の取り仕切り役）となり、新郎新婦の思いが詰まった式をつくりあげられるようになります。

入澤さんが働く

がんばる市内の企業紹介 株式会社当間高原リゾート ベルナティオ

地域雇用を守るために
挑戦し続ける

「人を活かし、お客さまに感動をお届けし、地域とともに発展する」を経営理念に、リゾートホテル「ホテルベルナティオ」の経営やウェディング事業を展開する同社。十日町ファンを増やすため、この地域の魅力である自然・歴史・食文化を体験できるさまざまなプランを用意して、お客さまをお迎えしています。庭野電也総支配人は、「100年企業を目指し、この地域の雇用を守り、これからもさまざまなことに挑戦し続けます」と話してくれました。



1: 美しい景観のホテルベルナティオ
2: 自然観察ツアーの様子



お客さまに式場を案内する入澤さん

为了营造安定的地区就业环境，对能够接收的企业进行支援。另外，对承担企业和地区的未来的年轻人和人才的确保、新商机的挑战、6次产业化等项目也进行大力支援。

In order to create stable local employment we are actively supporting local employers. We are also supporting the younger generations who will be key to the future of businesses and the local area with the securing of human resources, new business opportunities, and agricultural diversification among other initiatives.



皆の笑顔があふれるまちに

interview

NPO法人
ネージュスポーツクラブ
こやまのりひこ
小山 典彦 さん

当クラブでは、年齢・性別・障がいの有無を問わず子どもから大人まで誰でもできる、ボッチャや車いすバスケットボールなどのパラスポーツの普及に取り組んでいます。大会・講習会などは準備・運営に障がい者の皆さんからも協力してもらうことで、社会参加を促し、垣根のないスポーツコミュニティづくりを行っています。

スポーツを通じた共生社会づくり

東京2020オリンピック・パラリンピックのコンセプトであった「多様性と調和」の重要性を広げていくため、「一人でも多くの仲間と共生社会づくりを進め、皆さんの笑顔があふれるまちにしていきたいです。」



ボッチャ(写真上)や車いすバスケットボール(写真下)大会を通じて、市民がパラスポーツに親しむ機会を提供するとともに、市民の健康増進と共生社会のさらなる進展を目指します。



708席あるホールの様子。人気のコンサートなどは満席になります。

夕方から「段十ろう」は光のインスタレーションに彩られます。これはアーティスト・高橋匡太(たかはしきょうた)さんによる「光り織」という大地の芸術祭の作品で、十日町のきものをモチーフにした光のアートです。



「段十ろう」を拠点とした文化芸術活動の推進

越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館「段十ろう」では、クラシックや和文芸のほかに、著名なアーティストによるコンサートや、文化人の講演会などを開催し、一流の文化芸術にふれる機会を市民へ提供し、文化芸術に対する関心を高め

文化芸術活動の充実

ています。これらイベント運営は、新潟県文化振興財団、自治総合センター(宝くじの活用)、十日町市文化協会連合会などと協力し、より質の高い芸術文化鑑賞の場を提供します。

また、市美術館や市民吹奏楽団のコンサートなど、市民の文化芸術活動の発表の場としての利用機会充実も図っています。

十日町市の歴史・育まれた固有の文化を守り、音楽・舞台芸術・美術などの鑑賞、文化芸術の学習・活動・発表の機会を広げ、地域の魅力を発信しています。また、広くスポーツに親しめるように、ニュースポーツやボッチャなどのパラスポーツ普及に取り組んでいます。

誰もが自由に 楽しく学び多様な文化に ふれあえるまち

縄文の魅力発信

縄文人の
生活・精神文化を
感じてほしい

伊平乃の里
縄文サポータークラブ
あべみきこ
阿部 美記子 さん

森の中のアクティビティ、十日町市博物館「TOPPAKU」の見学、笹山遺跡での食事など、楽しみながら縄文文化を体験できるプログラムツアー「十日町縄文ツアー」のガイドをしています。このプログラムに協力する中で、縄文人の暮らしぶりなど、当時のことを改めて学ぶことができ、私自身の関心もさらに高まりました。私たちの祖先が育んだ生活・文化を感じるために、ぜひ十日町市へお越しください。

アートときものの 生産技術で 縄文の魅力発信

有限会社瀧長商店
代表取締役
たきざわ こずえ
滝沢 梢 さん

「縄文手ぬぐい」(右写真)は、市内の笹山遺跡で出土した国宝・火焰型土器をモチーフにアーティストがデザインし、十日町市のきものの染色技術で制作されました。全6種類が、十日町市博物館「TOPPAKU」で販売されています。特に若い人たちに、この手ぬぐいで十日町市のきもの生産技術の高さや歴史、文化を感じてほしいです。



今後は、用途が広いバッグの制作にも取り組み、縄文文化の魅力をさらに発信していきます。



We are committed to preserving the history and unique culture of Tokamachi, as well as the art, music, and performing arts. We aim to increase the opportunities for appreciation of these skills, the chance to learn them, as well as the opportunity to perform, and believe they all convey the charm of the region. We are also encouraging wider participation in sports, and aiming to popularize Para Sports such as boccia and other new sports.

継承十日町市の歴史・孕育した固有文化、拡大鑑賞音楽・舞台芸術・美術等の、以及文化芸術の学習・活動・発表の機会、伝播地区の魅力。另外、为了推广体育运动，积极推进新项目及地板滚球等残疾人运动的普及。



新潟県立十日町看護専門学校の学生たち

安全・安心な
まちづくり

03

医 療

生涯元気で健やかに
暮らせるまち



校舎の外観



看護技術の演習

新潟県や医師会と連携し、
望まれる地域医療を目指し
ながら、看護職員の確保も
進めます。

新潟県立十日町看護専門学校

2020年4月、新潟県立十日町病院に隣接する十日町市医療福祉総合センター内に開校。いのちの尊厳を重んじ、自然豊かな越後妻有の地で人間性を培い、広く社会に貢献できる看護師の育成を目指しています。



interview

誰かの役に立ちたい…
納得できる将来のために

新潟県立十日町看護専門学校1期生
なかしま みずき
中島 瑞貴さん

私が看護師を目指したきっかけは、祖父が入院したとき、付いていただいた看護師の方から丁寧に対応していただき、看護の仕事に感銘を受けたからです。私も、どんなときも患者さんに笑顔で接し、寄り添うことができる看護師になりたいです。

1期生なので目標にできる先輩もいなくて不安なこともあります。が、クラスメートや先生方からサポートしてもらいながら、毎日を過ごしています。生まれ育った十日町市で看護について学べることに感謝し、理想の看護師になれるように勉強に励みます。

地域医療の推進

与新潟县及医师会合作，在实现所希望的地区医疗的同时，尽力确保看护人员。

In cooperation with Niigata prefecture and the Medical Association we will proceed to secure nursing staff to achieve the desired levels of medical care for the region.



安全・安心な
まちづくり

03

防 災

災害に強く安心して
暮らせるまち

豪雪などの自然災害や
原子力災害から、市民の
生命と財産を守る体制づく
りを進めます。あわせて、
市民の自助や共助の理念
を醸成し、地域防災力の
向上に取り組みます。

同報系防災行政無線システム

同時複数通信に対応したデジタル式のシステムで、4年をかけ2021年9月に完成しました。屋外スピーカー（市内89か所に設置）のほか、各家庭や事業所には戸別受信機も配備され、緊急時はもちろん、平常時においても市民と行政をつなぐ情報伝達手段として、活用されています。



屋外スピーカー



戸別受信機



interview

「自助」、「共助」、「公助」の
融合で災害に強いまちへ

下条地区連合自主防災会会長
かみむら えいいち
上村 栄市さん

中越地震で、いざというときの近所での助け合いが大切ということを知り、2009年に下条地区連合自主防災会を設立しました。そして、市からの支援も受け、独自に発電機など防災用品を揃えました。現在は避難所の開設を想定した訓練にも取り組んでいます。防災行政無線の整備で、いざというときの情報伝達が強化され、とても心強く感じます。「自分たちの地域は自分たちで守る」という「自助」と「共助」に、行政からの支援の「公助」を合わせて、市民の立場から災害に強いまちづくりを進めています。

防災対策の推進

推进构建暴雪等自然灾害以及核污染灾害的市民生命财产的保护体制。同时，养成市民的自助及互助理念，大力提高地区的防灾能力。

We are aiming to create systems to protect the lives and property of citizens from natural disasters such as heavy snowfall and nuclear disasters. We will encourage the idea of self-help and mutual assistance for residents, as well as improve the capabilities for regional disaster prevention.



このまちが
もっと活気あふれる地域になるように

これからも「選ばれて 住み継がれるまち とおかまち」を目指して

さらに「白く」輝けるよう
さまざまなカラーを幾重にも重ねていきます



安全・安心な
まちづくり

03

環境

環境にやさしく 自然と調和するまち



完成イメージ図

埋立容量	34,000立方メートル
貯留構造物	鉄筋コンクリート造
遮水構造	底部：二重遮水シート 側壁部：一重遮水シート
浸出水処理施設	処理能力 10立方メートル／日

次期一般廃棄物最終処分場
廃棄物の飛散やにおいの拡散を防止し、降雪期も含めて通年利用できるよう、クロード型（屋根付き）の施設を松代地域・海老地内へ整備しています。

環境保全対策に優れ、通年利用
できる次期一般廃棄物最終処分
場の整備を進めています。また、
資源循環型社会の構築を目指
し、3R（リデュース・リユース・
リサイクル）を推進し、市内の
ごみ排出量を削減します。



interview

住みよい故郷を
未来に残していくために

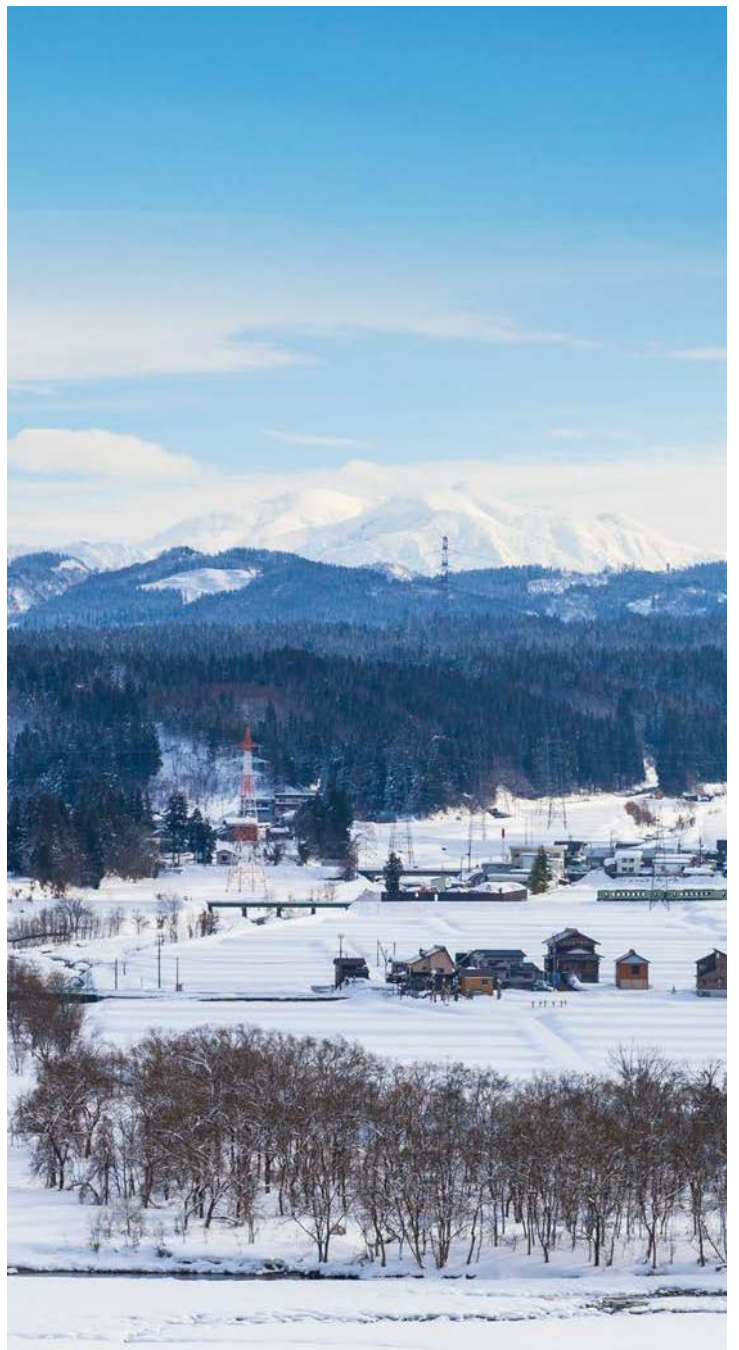
市民環境会議 減量部会長
星野 景子 さん

当部会では、ごみステーションの
分別調査、公園の清掃活動を行っ
ています。また、市内のスーパーを回
り、レジ袋削減の声掛けにも取り組
みました。そして、若年層から環境
保全意識を持つてもらうために、市
内小中学校と連携し、子どもたちに
環境標語も作成してもらっています。
環境を良くするためには、このま
ちに住む市民一人ひとりの意識が
大切です。次代を担う子どもたち
に住みよい故郷を残していくため
にも、循環型社会の実現に向けてさ
らなる活動に取り組んでいきます。

循環型社会の実現

推进设立利于环境保护的、全年均可利用的下期一般垃圾最终处理厂。另外，为了实现资源循环型社会的构筑，推行3R（Reduce・Reuse・Recycle）措施，减少市内的垃圾排出量。

We are proceeding with the development of the next general waste disposal site, which has excellent environmental protection measures and can be used throughout the year. We are also aiming to reduce the amount of waste generated within the city, while promoting a recycling-focused society that values the three Rs - Reduce, Reuse, Recycle.



information

「十日町市LINE」からは市政に関する情報を、
「十日町市Twitter」からは市のさまざまな魅力を発信しています。
ぜひ友だち登録、フォローして利用してください。

発行 2022年3月 新潟県十日町市
編集 総務部企画政策課広報聴係
〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地
TEL: 025-757-3112 FAX: 025-752-4635
E-mail: koho@city.tokamachi.lg.jp
URL: <https://www.city.tokamachi.lg.jp/>

一部写真 (一社)十日町市観光協会 提供

制作 (株)滝沢印刷

十日町市
ホームページ



十日町市
ふるさとCM動画



十日町市
LINE



十日町市
Twitter

